

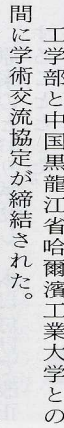
第九回国際駅伝大会

工学部主催による国際駅伝大会が一月二十五日(土)に開催された。この駅伝大会は、広島大学で学んでいる留学生をはじめとして、日本人学生や教職員それに地域の人たちがそれぞれチームを編成し、持久力と走力を競い合うなかで、国際交流、地域交流を深めることを目的として毎年一月に開催されている。



総合順位 優勝 負けたら坊主(広大学生) 第2位 三年目の上着(広大学生) 第3位 磯松中学校 優勝 揚子江(中国) 第2位 韓国チーム

中華人民共和国哈爾濱(ハルビン)工業大学と学術教育交流協定を締結



協定書に署名する松村工学部長と杜副学長

工学部と中国黒龍江省哈爾濱工業大学との間に学術交流協定が締結された。哈爾濱工業大学は、二十六学科、学部学生収容数一〇〇〇人、教職員数五〇〇〇人、中国東北地方唯一の規模を誇り、中国国家重点大学十五校のうちのひとつである。最大の特徴は航天工程系、すなわち宇宙航空工学である。本学部にはこの分野の専門家は少ないが、第一類(機械系)の福永秀春教授が、航空機の重要な構成材料である複合材料の研究を通じて同大学の姚忠凱教授と親交があり、それが今回の学術交流協定締結に発展した。

へ赴き、揚士勤学長の臨席のもと、杜善義副学長と協定書に署名した。その時、すなわち一月二十一日夕刻の哈爾濱市は、快晴ながら氷点下三〇度の極寒であったが、同大学の創立と本学部の前身の広島高等工業学校の創立が共に一九二〇年であったことが分かったこともあって、調印式は和やかな暖かい雰囲気で行われた。また、福永研究室の留学生、姚力軍君(哈爾濱工業大学出身)の献身的な通訳のおかげでもあった。哈爾濱市は人口三〇〇万、ロシア風の大きな建築物が並ぶ美しい大都市である。今後、同大学は学生交流協定を結ぶことを希望しているとの、多数の本学部の学生諸君が同市を訪れることは、この先遠いことではないだろう。

この部分はDNAを核膜に固定している部分なので、ここが短くなることはDNAを不安定にする可能性がある。発癌物質や活性酸素によってDNAに傷が付き、適正に修復されないときは、その傷が細胞分裂のたびにだんだん増幅されるようになる。その傷が重要な遺伝子におけると癌化が始まるとされている。質疑応答では胃腸とピロリ菌との関係についても質問があり、吉原助教は「疫学的にピロリ菌と胃腸の関係が認められており、今ピロリ菌の除菌により胃腸を予防できるかどうかの全国プロジェクトが進みつつある」と話している。

産官学連携で技術研修

「製造業離れ」に歯止め 広島市工業技術センター(広島市中区千田町)が次代を担う若手技術者の育成に乗り出した。

二月二十二日付けの「広島経済レポート」によると、新年度からスタートする「ライジングジェネレーション21」と名づけられたこの計画では、本学工学部、広島工業大、近畿大工学部、広島電機大、広島市立大情報科学部・芸術学部の学生に呼び掛けて、夏休み期間中に実学中心の「技術サマースクール」を開講するほか、企業見学会、企業トップや技術者を講師にした交流会や集中講義の開催、学生の研究テーマの実地指導などを予定している。

動き出したJR西条駅前

東広島市は、国の補助を受けて市の表玄関となるJR西条駅前一帯約七・六畝を対象に

市技工センターでは、実際に企業の技術に触れたり経営者の経営戦略などをテーマに、対話方式の交流により、技術職指向の意識改革へつなげていきたいとしている。

土地地区画整理事業を推進しているが、予定より一年早く、三月末に計画区域内で減価補償用地七八〇〇平方メートルを取得することになった。(二月二十二日付け「広島経済レポート」) 西条駅前の開発は、市のシンボルロードであるブルーパール(西条駅大学線、幅員三十八メートル)を駅前まで約二〇〇メートル延ばして大学キャンパスと駅を一直線に結び、古い家並みや駅前商店街を一新して学園都市の表玄関として整備するもので、総事業費は一三億二〇〇〇万円。工事は平成十九年度末を目指している。

機に、日本はボランティア元年を迎えた。多くの人たちが日本の各地から被災地に行き、さまざまなボランティア活動が行われた。我々体育会も、生物生産学部の船でボランティア隊を組織していち早く現地へ駆けつけた。これをきっかけに、ボランティア精神というものに目覚めた。

「動き出したJR西条駅前」 東広島市は、国の補助を受けて市の表玄関となるJR西条駅前一帯約七・六畝を対象に

市技工センターでは、実際に企業の技術に触れたり経営者の経営戦略などをテーマに、対話方式の交流により、技術職指向の意識改革へつなげていきたいとしている。

土地地区画整理事業を推進しているが、予定より一年早く、三月末に計画区域内で減価補償用地七八〇〇平方メートルを取得することになった。(二月二十二日付け「広島経済レポート」) 西条駅前の開発は、市のシンボルロードであるブルーパール(西条駅大学線、幅員三十八メートル)を駅前まで約二〇〇メートル延ばして大学キャンパスと駅を一直線に結び、古い家並みや駅前商店街を一新して学園都市の表玄関として整備するもので、総事業費は一三億二〇〇〇万円。工事は平成十九年度末を目指している。

機に、日本はボランティア元年を迎えた。多くの人たちが日本の各地から被災地に行き、さまざまなボランティア活動が行われた。我々体育会も、生物生産学部の船でボランティア隊を組織していち早く現地へ駆けつけた。これをきっかけに、ボランティア精神というものに目覚めた。

「動き出したJR西条駅前」 東広島市は、国の補助を受けて市の表玄関となるJR西条駅前一帯約七・六畝を対象に

市技工センターでは、実際に企業の技術に触れたり経営者の経営戦略などをテーマに、対話方式の交流により、技術職指向の意識改革へつなげていきたいとしている。

土地地区画整理事業を推進しているが、予定より一年早く、三月末に計画区域内で減価補償用地七八〇〇平方メートルを取得することになった。(二月二十二日付け「広島経済レポート」) 西条駅前の開発は、市のシンボルロードであるブルーパール(西条駅大学線、幅員三十八メートル)を駅前まで約二〇〇メートル延ばして大学キャンパスと駅を一直線に結び、古い家並みや駅前商店街を一新して学園都市の表玄関として整備するもので、総事業費は一三億二〇〇〇万円。工事は平成十九年度末を目指している。

機に、日本はボランティア元年を迎えた。多くの人たちが日本の各地から被災地に行き、さまざまなボランティア活動が行われた。我々体育会も、生物生産学部の船でボランティア隊を組織していち早く現地へ駆けつけた。これをきっかけに、ボランティア精神というものに目覚めた。

「動き出したJR西条駅前」 東広島市は、国の補助を受けて市の表玄関となるJR西条駅前一帯約七・六畝を対象に

市技工センターでは、実際に企業の技術に触れたり経営者の経営戦略などをテーマに、対話方式の交流により、技術職指向の意識改革へつなげていきたいとしている。

土地地区画整理事業を推進しているが、予定より一年早く、三月末に計画区域内で減価補償用地七八〇〇平方メートルを取得することになった。(二月二十二日付け「広島経済レポート」) 西条駅前の開発は、市のシンボルロードであるブルーパール(西条駅大学線、幅員三十八メートル)を駅前まで約二〇〇メートル延ばして大学キャンパスと駅を一直線に結び、古い家並みや駅前商店街を一新して学園都市の表玄関として整備するもので、総事業費は一三億二〇〇〇万円。工事は平成十九年度末を目指している。

機に、日本はボランティア元年を迎えた。多くの人たちが日本の各地から被災地に行き、さまざまなボランティア活動が行われた。我々体育会も、生物生産学部の船でボランティア隊を組織していち早く現地へ駆けつけた。これをきっかけに、ボランティア精神というものに目覚めた。

「動き出したJR西条駅前」 東広島市は、国の補助を受けて市の表玄関となるJR西条駅前一帯約七・六畝を対象に

市技工センターでは、実際に企業の技術に触れたり経営者の経営戦略などをテーマに、対話方式の交流により、技術職指向の意識改革へつなげていきたいとしている。

土地地区画整理事業を推進しているが、予定より一年早く、三月末に計画区域内で減価補償用地七八〇〇平方メートルを取得することになった。(二月二十二日付け「広島経済レポート」) 西条駅前の開発は、市のシンボルロードであるブルーパール(西条駅大学線、幅員三十八メートル)を駅前まで約二〇〇メートル延ばして大学キャンパスと駅を一直線に結び、古い家並みや駅前商店街を一新して学園都市の表玄関として整備するもので、総事業費は一三億二〇〇〇万円。工事は平成十九年度末を目指している。

機に、日本はボランティア元年を迎えた。多くの人たちが日本の各地から被災地に行き、さまざまなボランティア活動が行われた。我々体育会も、生物生産学部の船でボランティア隊を組織していち早く現地へ駆けつけた。これをきっかけに、ボランティア精神というものに目覚めた。

「動き出したJR西条駅前」 東広島市は、国の補助を受けて市の表玄関となるJR西条駅前一帯約七・六畝を対象に

市技工センターでは、実際に企業の技術に触れたり経営者の経営戦略などをテーマに、対話方式の交流により、技術職指向の意識改革へつなげていきたいとしている。

土地地区画整理事業を推進しているが、予定より一年早く、三月末に計画区域内で減価補償用地七八〇〇平方メートルを取得することになった。(二月二十二日付け「広島経済レポート」) 西条駅前の開発は、市のシンボルロードであるブルーパール(西条駅大学線、幅員三十八メートル)を駅前まで約二〇〇メートル延ばして大学キャンパスと駅を一直線に結び、古い家並みや駅前商店街を一新して学園都市の表玄関として整備するもので、総事業費は一三億二〇〇〇万円。工事は平成十九年度末を目指している。

機に、日本はボランティア元年を迎えた。多くの人たちが日本の各地から被災地に行き、さまざまなボランティア活動が行われた。我々体育会も、生物生産学部の船でボランティア隊を組織していち早く現地へ駆けつけた。これをきっかけに、ボランティア精神というものに目覚めた。

「動き出したJR西条駅前」 東広島市は、国の補助を受けて市の表玄関となるJR西条駅前一帯約七・六畝を対象に

市技工センターでは、実際に企業の技術に触れたり経営者の経営戦略などをテーマに、対話方式の交流により、技術職指向の意識改革へつなげていきたいとしている。